

2019年1月23日

助成事業実施報告書

団体名 (福)アパティア福祉会 自立援助ホームつばさ
代表者・役職名 氏名 管理者 大野朋美

1. 助成プロジェクト名

一生忘れられない旅！Let's Visit World！in Taiwan

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

社会福祉法人アパティア福祉会 自立援助ホームつばさは、2010年4月に開設しました。当法人は、三重県桑名市を拠点に介護老人福祉施設、在宅介護、デイサービス、障がい者支援施設、乳児院、児童養護施設、児童心理療養施設、保育園などの社会福祉事業を行っています。「すべての人を尊重し、共感をもって寄り添い、支えます」を基本理念とし、活動しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

行事企画(初詣、花火大会等)で外出する事はありますが、宿泊旅行に行く機会はありません。日頃の会話の中で、皆で旅行に行きたいと発言する児童が多いものの、得られる補助金や助成金がない状況でした。今回のプロジェクトは、児童の経験知や視野を広げる事を目的とし、また児童と職員が感動を共有する場をともに過ごす事で忘れられない思い出にします。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

入所児童と職員で2泊3日の台北旅行プロジェクトを実施しました。見所溢れる台北市内観光をはじめ、国立故宮博物館で歴史の勉強をし、レトロな世界が広がる九份散策、十份にて願いを混めて天燈上げをしました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生じられた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

児童達にとって、初めての海外旅行は非日常的な空間を楽しむことができ、十分な気分転換の機会となった。児童同士も施設外で話す事が増え、以前より会話も増えた。職員2名、入所児童2名の計4名で参加できた事がプロジェクトの目的であった、忘れられない旅になったと思います。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

入所児童数の変動がある事から、参加児童の決定やプロジェクト前に入所する児童の対応等、検討事項が多くありました。海外旅行はパスポートが必須のため、途中で参加人数の調整が難しいことや、未成年のパスポート申請の際に、親権者の署名が必要となり、直接連絡を取る事や同意を得る事が難しい場合、児童相談書の協力も必要になった児童もいた。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

